

食糧不足に悩むアフリカ・ソマリア共和国に、おいしい秋田の米をプレゼントしよう―と青年たちがいち立ち上がった。週して「愛の一粒運動」。期間は九月一日から七日まで。県内の各小、中学校や公民館ごとに集めた米はトラックで横浜

愛の一粒運動

港に運ばれ、船会社の無料倉庫でソマリアの難民キャンプに廻られる。青年たちは「同じ人間として、できる範囲の手伝いをしたい。一粒のお米を寄せていただくだけで結構です」と、温かい支援を呼びかけている。

ソマリアに秋田米を

難民の窮状見かね 日本ユニセフの青年ら 一握りをと呼びかけ

青年らは代表の佐々木光さん(左)、中野二五さん(右)が、秋田県産の秋田米を、ソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。



「愛の一粒を」と呼びかける佐々木光さん(左)

佐々木さんは昨年三月にソマリアに立って、見学旅行に来た。ソマリアは、食糧不足で、難民が、野山で暮らしている。秋田米をソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。

ソマリア民主共和国は、東アフリカの国で、人口は約二千四百万人。ソマリアは、食糧不足で、難民が、野山で暮らしている。秋田米をソマリアに送ることを決めた。

秋田米をソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。

食糧不足のアフリカソマリア国に秋田米を

ユニセフ秋田が「愛の一粒運動」

ソマリアでは、難民が食糧不足で、野山で暮らしている。秋田米をソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。

昭和57年(1982年)8月24日 (火曜日)

秋田版

秋田支局〒010
秋田山王5-10-18
代表 0188(2)22181
広告代表 0188(6)4120
—通信部—
代手 01855(2)5049
01823(2)4030
01841(4)2411
01837(3)2840
熊坂 大 森

秋田支局 〒010
秋田山王5-10-18
代表 0188(2)22181
広告代表 0188(6)4120
—通信部—
代手 01855(2)5049
01823(2)4030
01841(4)2411
01837(3)2840
熊坂 大 森

ソマリアに秋田米を

来月から「愛の一粒運動」

秋田県産の秋田米を、ソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。秋田米をソマリアに送ることを決めた。